



インスピレーションになるう



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長 パリー・ラシン

長井ロータリークラブ会長	遠藤 伴明	第2800地区ガバナー	上林 直樹
幹事	那須 修	第6ブロックガバナー補佐	高橋 眞己
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	(横澤寿彦 伊藤克也 村田 剛 中島 浩 土屋茂樹)

## 【4月・特別月間】母子の健康週間月間

例会報告 No.27 (通算 第2780回) 2019年(平成31年)4月2日(火)号

## 次例会(4月9日)

◎ゲスト卓話 例会場 PM0:15  
飯豊町長 後藤 幸平氏  
(飯豊町政の取り組みについて)

## 次々例会(4月16日)

◎会員卓話 例会場 PM0:15  
井上晴雄会員 (化粧坂観音について)

## 前回例会の報告

(ロータリーソング斉唱) 国歌 奉仕の理想



## 会長の時間(挨拶)

会長 遠藤伴明

こんにちは、先週桜の開花の心配の話をしてきましたが今日の天候見ますと観桜会まで何とか桜が持つのかと都合よく考えているところです。

さて昨日新しい元号が「令和」と発表されました。日本では大化から始まり248番目の元号で、日本最古の歌集、万葉集より梅の花の歌三十二首の序文の

「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から引用したとの事です。意味に関しては昨日から何度も報道されていますので皆さんも何度も聞かれたかと思いますが、ここでは省略しますが、今週例会のロータリークラブの会長は多分、いや必ずこの話題を会長挨拶として話すことと思います。また会員の土屋さんなどは選挙や元号の変更などで忙しく大変だろうなと思い発表を見ていました。

そんな時、仙台の大塚家具から携帯に電話が入りました。実は私大塚家具からソファを買ったので、このお祭りムードの中セールでもする案内かと思い電話に出ましたら5月6日をもって仙台のショールームを閉じることになりましたとの連絡でした。今後のアフターケアは申し訳ないが幕張店で受けるとの事でした。

その時思ったのは新しい元号になり何事も良い方向に向かうかといえそうではないという事です。今の時代業績の良い会社でも一つミスがあると業績が落ち不祥事などがあれば倒産にまで追い込まれる時代です。そんな時に親子喧嘩などをしていれば当然のことと思います。私の仕事も調剤ミスを起こし患者様に健康被害が出れば大きなダメージを受けます。ですから毎日同じことをしていますが、同じ日は一日もないと思い仕事をするようにしています。新たな時代を迎える今、自分の仕事を振り返る良い電話でした。

(令和の意味) 人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように



## 幹事報告

幹事 那須 修



- 第 16 回理事会案内  
日時：4月9日(火) 11:30  
内容：5月プログラム他
- 南陽東 RC 創立 30 周年記念式典ご案内  
日時：5月11日(土) pm2:00  
会場：熊野大社證誠殿
- 早退届 齋藤慎治会員 所用のため

## 委員会報告

- 次年度第二回理事会開催案内  
(次年度幹事土屋茂樹)  
内容：理事・役員・委員長会議  
日時：5月9日(木) pm6:00  
場所：きらく (終了後懇親会 会費 3,000円)



- クラブ細則 9 条 10 条改正 (予告)  
(大山会長エレクト)  
・会員数減少による委員会構成見直し、公共イメージの採用等  
・4月16日例会にて採決実施



## お祝い・表彰

親睦委員長  
村田 剛

おめでとうございます。(4月)



- 奥様誕生日

会長遠藤伴明 12日



- ご本人誕生日 大道寺信会員 27日
- 結婚記念日  
尾形和夫会員 5日 中島 浩会員 20日  
齋藤喜内会員 26日 栗田正彦会員 15日  
渡辺清隆会員 16日

今週の  
食事



## ニコニコBOX

尾形和夫会員

- ・遠藤伴明会長 新年号が決まりかした。残り何事もおこりませんように。  
梅津会員の卓話を楽しみに。
- ・那須修幹事 梅津会員の卓話楽しみにしています。
- ・塚田弘一会員 梅津会員のご活躍を期待しています。
- ・伊藤克也副会長 梅津会員の卓話楽しみにしています。



BOX ありがとうございます。

本日金額： 4,000円  
累計金額： 213,500円  
(達成率 30.5%)

## 新入会員卓話

梅津喜博会員



- (自己紹介)
- ・S45年2月生まれ49歳。  
長井工業卒で東京の機械関連製作所に就職後、事情でユーターン。  
・土地家屋調査士に挑戦し、H17合格、H18登録。  
那須幹事(県副会長)にいろいろ相談している。

- (土地家屋調査士の業務)
- ・H18の法改正により、分筆では今まで求積のみで済んでいたが、今は境界紛争防止等のため全測量となっている。
- ・明治時代は縄による測量で図面化していたが縄伸び等により概ねの図面であった。境界は貴重な財産のため今ではキチンとした正確な測量対応である。

- (地域奉仕への参加)
- ・豊田地区公民館活動をやっています。塚田先輩等から「若い担い手が少ない」「活動していくのは若い人」の声により、公民館がコミュニティセンターになる機に次の研修に参加。

- 研修①—  
昨年の市報で「人と地域」をつなぐ事業を見て、「この事業は何をすればいいのだろう」との自分の悩みを解決するため独断で研修に参加。



『人と地域』をつなぐ事業

今年度は13名(男性4名、女性9名)の方に応募いただき受講者として参加いただいています。受講者には、講師である東京都市大学准教授の坂倉吉氏による講義、東京都港区で坂倉先生が取り組まれている「芝の家」などの視察研修、全国の地域づくりの事例を学ぶ外部研修を受講していただきました。

今年度の新たな取り組みとして、東京都市大学坂倉吉研究室と合同で公開講座を行いました。地域を盛り上げたいという昨年度の受講者の「想い」を加速するため、川西町東沢地区を会場に受講者と学生がフィールドワークを行い、地域住民や一般の方にも参加いただいて、坂倉先生の基調講演、ワークショップを実施しました。

- 答えはすぐに出なかったが、一番の基本である「人と人とのコミュニケーション」を教わる。
- 講師の坂倉先生は物腰柔らかい方だが人と人が接する場面では凄い人と感じた。年齢差がある参加者で話ずらく話が合わない中、ゲームをしたり或るテーマの課題を話し合う形等が良いと感じる。
- 自由選択できる5~6個の課題から、地域活性化センターの「空き家・空き店舗の活用から芽吹くコミュニティの未来」のテーマを選択し、昨年11月東京でのセミナーに参加。(その背景にはある市町村の方から「空き家対策に何かいいアイデアがないか」との問い掛けある。)

一研修②一

平成30年度 第9回 新たな知と方法を生む土日集中セミナー



平成30年11月24日(土)~11月25日(日)

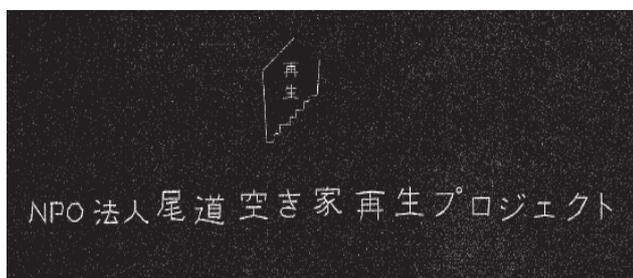
日本橋プラザ会議室

主催  
一般財団法人  
**地域活性化センター**  
Japan Center for Regional Revitalization  
<https://www.jard.jp/>

- 講師(4人)と対策

○豊田 雅子 氏 (NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト 代表理事)

(対策) 尾道は道路も狭く坂道が多い地域性の中、地域の人の力を借りて対策するやり方。



○塩田 大成 氏 (株式会社ビルスタジオ 代表取締役)

(対策) 会社を活かしながら行政の力を借りずにやるやり方。

○長坂 泰之 氏

(独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部 参事 兼 経営診断統括室 主任研究指導員)

(対策) データに基づく手法、中小企業診断を取り入れるやり方。

資本主義のもと、日本は商業機能の郊外立地を容認し中心市街地は衰退

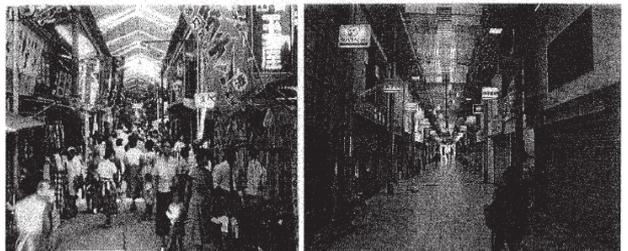
韓国流通学会(ソウル開催)レジュメより(2018.4.27)

日本の都市と商業の関係性の変化

(過去) 都市と商業は密接不可分

(現在) 特に地方都市ほど都市と商業が分離

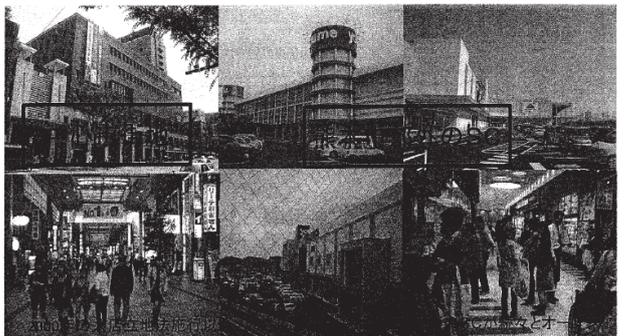
これと運動して、日本の商業政策も、20世紀初頭からの約100年間で目まぐるしく変化



1960年代の商店街(大阪市・人口300万人) [http://www.city.osaka.lg.jp/nigashisumiyoshi/page/...](http://www.city.osaka.lg.jp/nigashisumiyoshi/page/) 2000年代の商店街(鳥取県米子市・人口15万人) Copyright (C) 2018 nagasaka.yasuyuki All Rights Reserved.

韓国流通学会(ソウル開催)レジュメより(2018.4.27) Copyright (C) 2018 nagasaka.yasuyuki All Rights Reserved.

日本の中心市街地の衰退(熊本市)  
中心商店街を包囲しての大型SCの競争



○早坂 進氏

(鶴岡市柳引庁舎産業建設課 課長/NPO 法人つるかランド・バンク 理事)

1961年、鶴岡市生まれ。1985年鶴岡市役所入所。商工観光課、社会教育課、課税課勤務、建設部都市整備課、都市計画課、建築課等を経験後、2015年都市計画課長、2018年から柳引庁舎産業建設課長を務める。

2013年からNPO 法人つるかランド・バンク理事を兼任。

■「NPO 法人つるかランド・バンク」とは？

相続や権利問題が複雑で、行政や民間事業者単独では解決が難しい空き家・空き地の問題、及びそれらに接している狭い道路の問題を、助成金など様々な事業手法により一体的に解決することによって、良好な住環境の整備を行うNPO 法人。

(対策) 地域一体になって行政自体の力で解決するやり方



・今の動き(4月から公民館がコミュニティセンター)の中で、自分なりにどうしたらいいのか、どういう考えをもったらいいのか等を踏まえ、「若手を増し、いろんな場に引き寄せられないか等」と考えています。

・私が担当する育成事業では、自分が声掛けした20

代前後の若い女性20人位でソフトバレーをやっています。また、30-40代の方を何とか公民館の集まりに参加してもらうように考えています。

・「人と地域」をつなぐ事業の中で一番大事と感じるのは世代交流です。年上年下の世代を通して話することが大事と考えます。そんな思い出が小学校時代に花火や運動会であるんですね。

◎この度、この事業に参加して自分の考え方が変わったことがあります。いろんな考え方をしている人が沢山います、若い方も沢山います。こんな中、活動を通していろんなことをやっていきたい、また、ライフスタイルの中でつながりを増やしていけたらと思っております。

(Q) 空き家の有効利用で所有者と借りる人の関係が一番問題になりますが、その辺の対策の話はありましたか。



(A) 鶴岡・早坂さんの、行政が折り合い(補助金)をつける話がありました。

(梅津喜博会員より)

ロータリクラブに入会させて頂き、まだまだ未熟な私ではありますが、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

卓話でありました諸問題等におきまして、先輩方のいい知恵をお借り出来ればと思っております。

出席報告

委員長 中島 浩

- ・本日の会員数26名、全出席数21名で出席率は80.77%です。
- ・前々回(3月12日分)の出席率は84.62%に確定します。

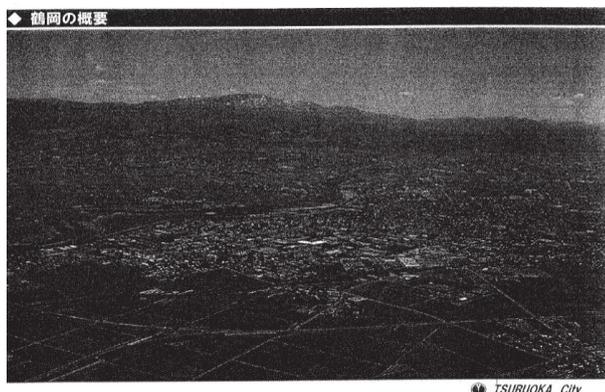
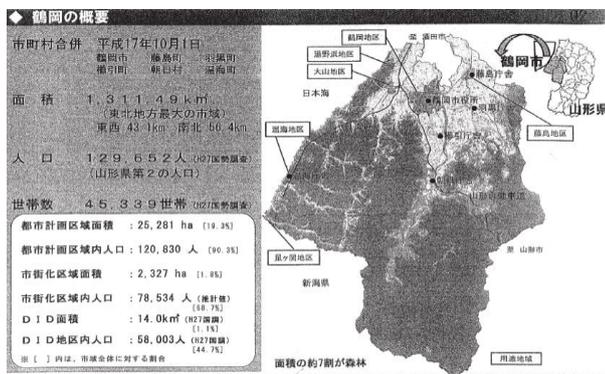


新たな知と方法を生む土日集中セミナー『空き家・空き店舗の活用から芽吹くコミュニティの未来～新しいエリアデザインのカタチ』  
■日時:平成30年11月24日・25日 講義Ⅲ  
■場所:日本橋プラザビル会議室(3階)

NPO鶴岡ランド・バンク理事

山形県鶴岡市柳引庁舎産業建設課長 早坂 進

鶴岡市都市計画課ホームページ <http://www.city.tsuruoka.lg.jp/060100/>



◎この度のセミナーでは、正直答えは見つからなかったが、鶴岡の早川氏の話が一番理想と感じた。自分達が頑張る、行政が頑張り地域一体となって対策するやり方である。